

ワーヘニンゲン大学

応用生物科学部醸造科学科 4 年(2023 年度時点) 三上十和

私はオランダのワーヘニンゲン大学に交換留学生として派遣されました。ワーヘニンゲンで過ごした半年間はとても充実した忘れられない時間となりました。留学をして本当に様々な人と出会い、新たな発見や気づきを与えられる貴重な体験となりました。

こちらでは、農大で学んでいる分野とは少し異なる授業も含め、興味のある授業を履修しました。全て英語で行われ、講義や試験の形式も全く異なる科目を学習することは決して簡単ではありませんでしたが、自分なりに充実した学びを経験することができました。非英語圏のヨーロッパ国の中でもオランダ人は特に英語が流暢に話せます。そのため、オランダ語が話せないことで困ることはほとんどありませんでした。日常生活ではオランダ語が飛び交っていましたが私の顔を見てアジア人だと判断し、英語で話してくれる親切な人も多くいました。挨拶など簡単な単語は覚えましたがそのほかのコミュニケーションは英語で乗り切りました。

また放課後や休日は、学内にあるとても設備の整った図書館で自習をしたり、スポーツセンターを利用したり、友達とご飯を食べたりしていました。ただの食事会でも異なる出身国の人人が集まれば様々な国の料理が食べられたり、その国の文化に触れたりできるためとても楽しかったです。テスト後の休日には友人と他の街へ足を延ばしました。

ワーヘニンゲン大学はヨーロッパの中でも特に国際的な大学だそうです。そのため、オランダに居ながら世界各地の人と交流し、文化や習慣を知ることができました。この留学を通して、さまざまなことを見聞きし、自分の視野が広がりました。

コロナ禍という厳しい状況下でこうして充実した生活があったのも留学の手続きなどのサポートをして下さったグローバル連携センターの皆さまや、支えてくれた家族や友人のおかげです。本当に感謝しています。農大では意外にもたくさんの海外の大学と協定を結んでいます。これらの大学との交換留学制度を利用して留学をすると大学によっては授業料が無料になります。実際に私の留学先のワーヘニンゲン大学は交換留学制度のおかげで授業料が無料であったため金銭面では本当に助かりました。本来ならば日本人学生は EU 国籍の学生の何倍もの学費を払わなければなりません。このような良い機会に是非留学してみませんか？